



⑧ 大胡城跡

大胡地区の文化財めぐり



前橋市教育委員会

大胡地区の歴史

大胡地区は、三ツ屋遺跡をはじめとして、各所で旧石器時代の遺物が出土しています。縄文早期(約1万年から6000年前)の土器は河原浜の日光道東遺跡や堀越乙西尾引、上大屋、樋越地区等から出土し、前期(約6000年から5000年前)になると遺跡の数は増え、中期(約5000年から4000年前)に入ると遺跡の数は更に増えていきます。また、他地域との交流も見られ、霞ヶ浦や南・西関東及び長野県分布の土器等が地区内から出土しています。後期(約4000年から3000年前)になると遺跡の数は減り、更に晩期(約3000年から2300年前)の土器等は地区内ではほとんど見られなくなります。

「大胡」の名の由来は、上野三碑の一つ山ノ上碑に刻まれた「大見臣」によるとされます。山ノ上古墳と似た截石積みみの石室をもつ堀越古墳が注目され、近年の発掘調査の成果からも古墳時代には多くの古墳がつけられ、集落が営まれていたことが分かっています。

中世には、源頼朝の御家人として大胡氏が登場し、その居館が営まれるとともに、大胡城がつけられるなど、現在の大胡地区の基礎がつけられました。近世では、徳川家康の関東入府に際し、牧野康成が大胡城に封じられ、町並みの整備や交通の要として街道が整備されました。

問い合わせ先 **文化財保護課**
前橋市三俣町二丁目10-2
TEL 027-231-9875
FAX 027-231-9862



↑④ 堀越古墳

↓⑤ 堀下の仏像群



⑦ 牧野家墓地



① 稲荷塚古墳

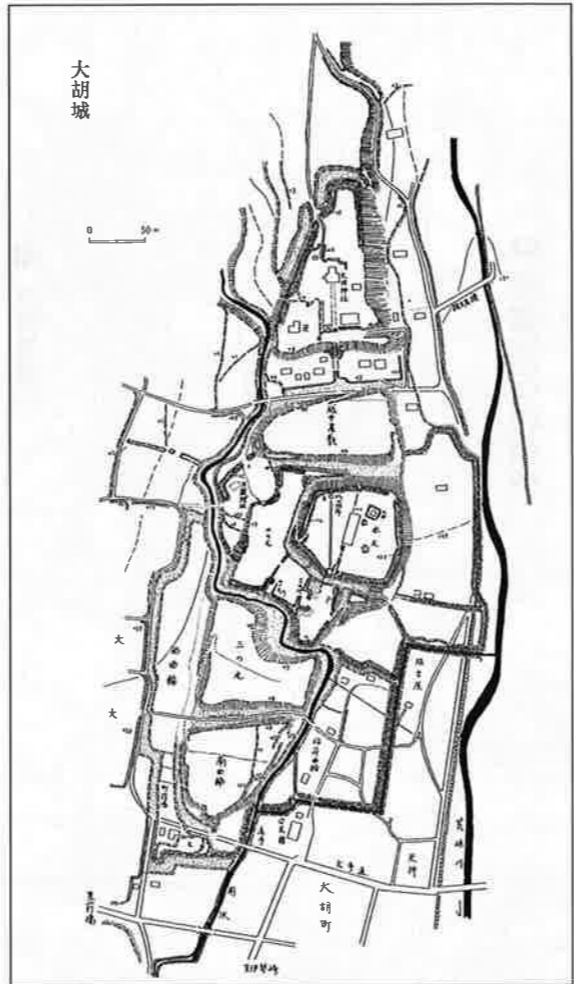


② 龍性寺の石幢

⑥ 伝大胡太郎の墓石



⑫ 横沢の石塔婆



資料：群馬県古城址の研究



⑨ 大胡神社太々神楽



⑭ 大胡宿の道しるべ

⑭ 河原浜の道しるべ

大胡地区の文化財を訪ねて

大胡地区には、県指定の文化財3件をはじめとする、次のような貴重な文化財があります。

- ① **稲荷塚古墳** (市史跡) 上大屋町8
「上毛古墳総覧」に、大胡町第25号墳として記載されている円墳です。墳頂には稲荷神社が祀られています。南部に鳥居が2基造られています。墳丘の形状は比較的よく保存されています。未調査のため、内部構造等は不明です。
- ② **龍性寺** 茂木町1,203 天台宗、世良田長栄寺末寺
石幢とは、六角や八角の柱状をした石塔の一種です。基礎の上に幢身、中台、龕部、笠、請花、宝珠を積み上げ、各面には仏像や梵字が刻まれています。この寺にある石幢(市重文)は、高さ2mの石燈籠形で、火袋のまわりに六地藏が浮き彫りされています。江戸時代中期のものと考えられます。
- ③ **鹿沼家墓地の石幢** (市重文) 上大屋町133
墓地内にある比較的小ぶりな総高123cmの石幢で、地元では「えんかい様」と呼ばれています。
- ④ **堀越古墳** (県史跡) 堀越町861-1
「上毛古墳総覧」に大胡町第15号墳として記載されています。赤城南麓傾斜地に造られた山寄せ式の径25mの円墳で、幅2.5mの周堀が南半を巡ります。傾斜地を削平して奥壁を設置した截石切細積みの横穴式石室は、羨門と精巧な玄門をもち、羨門前は台形に開き二段に画された前庭となっています。明治2(1869)年の発掘の際、小刀等の出土品があったといわれていますが、現在は不明です。高崎市山名町の山ノ上碑に記された「大見臣」との関連が推測されます。

ています。本丸は径100mの円形に近い形で、3.5mの高土居に囲まれています。中央には、本丸を二分する仕切り石積みと、喰違門(北)、枡形門(南)の城門跡があります。

- ⑨ **大胡神社** 河原浜町638
大胡城内の近戸曲輪にあり、もとは二宮赤城神社の系統の近戸大明神で、春秋のご神幸の休み場所です。天正年間(1573~1591)、大胡城主大胡常陸介高繁が三夜沢赤城神社の神官奈良原氏を招き、以後累代の城主から大胡城の守り神として祀られました。明治42(1909)年に、周辺の22社を合祀して大胡神社と改称されました。境内には、大正4(1915)年に奉納された算額(市重文)や、ムクロジ(市天記)などがあります。また、毎年5月には、旧足軽町(堀越町と茂木町の一部)の保存会による太々神楽(市無民文)が奉納されます。
- ⑩ **金蔵院** 堀越町1,392 真言宗豊山派
大胡城内に玉蔵院がありましたが、度重なる火災により堂塔、什器、旧記の全てを失いました。明治42(1909)年に、玉蔵院の末寺であった金胎寺に西方寺と共に玉蔵院を合併し、金蔵院と称するようになりました。本寺には、旧諏訪神社の宝物(市重文)である鱈口*が保管されています。旧諏訪神社とは、大胡神社に合祀された堀越諏訪神社のことです。また、関宿の郷蔵にあった堀越掛舞台下座一対*(市重文)も保管されています。
- ⑪ **堀越共同墓地の石幢** (市重文) 堀越町2,122
共同墓地の入口付近にあるこの石幢は、総高191cmで、龍性寺のものと同型です。
- ⑫ **横沢の石塔婆** (県重文) 横沢町677
輝石安山岩の自然石を使用した、地上からの高さ135cmの変形四角柱です。頂部を含めた五面に、種子及び銘文が刻まれています。種子は、頂面にバン(大日如来)、東面にサ(観音菩薩)、西面にキリーク(阿彌陀如来)、西北面にバク(釈迦如来)、東北面にバイ(薬師如来)が配置され、種子曼荼羅を表現しています。紀年銘は南北朝時代の三つの年にわたっていますが、いずれも2月18日の観音

- ⑤ **堀下の仏像群** (市有民文) 堀越町969-1
明治8(1875)年、長興寺末寺長慶寺(廃寺)が火災に遭い、その際町民が薬師如来1体と十二神将を現在の地へ移したといわれています。薬師如来の高さは台座共に42cmで、背面に「享和元(1801)年西四月吉日」の銘があります。十二神将は木造の立像で、高さは台座共に46cmです。昭和15(1940)年以降、長善寺が管理者となっています。
- ⑥ **長善寺** 堀越町1,240 曹洞宗、橋林寺末
本寺には、高さ170cmの異型多宝塔、伝大胡太郎の墓石(市重文)があります。向かって右に阿彌陀如来、左に地藏菩薩の種子(市重文)が刻まれ、右側から下部には「貞和三(1347)年三月廿二日」の紀年銘が入っています。他に、豊国秀頼公真筆とされる「豊国山」山号軸、涅槃絵軸、輪廻塔などがあります。
- ⑦ **養林寺** 堀越町1,259
大胡城主となった牧野氏の菩提寺で、**牧野家墓地**(市史跡)は、初代康成、康成の妻(酒井忠次(女)、康成の父である成定の妻のもの)です。山門は、円柱からなる四脚門の様式で、17世紀前半に建てられたものです。他に、大胡城絵図(幕末)があります。
寺域内には武家屋敷としての構えの痕跡である土居、堀跡が認められ、大胡氏の館跡との見方もあります。
- ⑧ **大胡城跡** (県史跡) 河原浜町660-1
現在の前橋市役所大胡支所から大胡神社に至る台地に築かれた、南北670m、東西310mの規模をもつ平立城で、大胡氏、牧野氏の居城でした。主要部は、近戸曲輪(大胡神社)、北城(大胡幼稚園)、本丸、二の丸、南曲輪などからなり、それぞれ堀切で区画され

有縁日であることから、観音信仰の対象として造られたものと考えられます。

- ⑬ **河原浜終業師の柵樹林** (市天記) 河原浜町143
大胡から三夜沢赤城神社へ、旅人が参拜のために往来した道が赤城街道です。この街道沿いに、滋賀県延暦寺末寺の応昌寺境外仏堂として薬師堂があり、本尊薬師如来(石仏)が安置されています。境内に樹齢300年ほどの柵の古木があることから、地元では終業師と呼ばれています。
- ⑭ **道しるべ** (市有民文)
日光御幣使街道の脇道は、日光裏街道あるいは日光脇往還と呼ばれていました。その一つ、五料(現在の玉村町)から駒形、茂木を経て大胡宿に入り、大前田、馬場、室沢、板橋(現在の桐生市)を過ぎて神梅(現在のみどり市)で足尾銅山街道に合流する街道は、平坦な本街道に比べて道幅も狭く険しい道ながら、近道として利用されました。この道沿いに道しるべがあり、当時の往来をうかがわせます。
- (1) **大胡宿の道しるべ** 大胡町80
文化6(1809)年己巳6月、奥泉文平、江原忠兵衛が世話人となって造立したもので、「西、前橋・米野」「南、五料・伊勢崎」「北、日光・大間々」とあります。
- (2) **河原浜の道しるべ** 河原浜町730
「右桐生・大間々、左日光」と堂々たる文字が刻まれた巾34cm、奥行18cm、高さ64cmの方柱の道しるべです。造立年月日、造立人名などは記されていません。元は河原浜(旧向町)丁字路にありましたが、現在は向町会館に移設されています。
- ⑮ **上毛電気鉄道株式会社 大胡駅** 茂木町30-2他
昭和3(1928)年の開業当時の姿をとどめている貴重な近代化遺産として、駅舎、電車庫、変電所などの施設が国の登録有形文化財になっています。

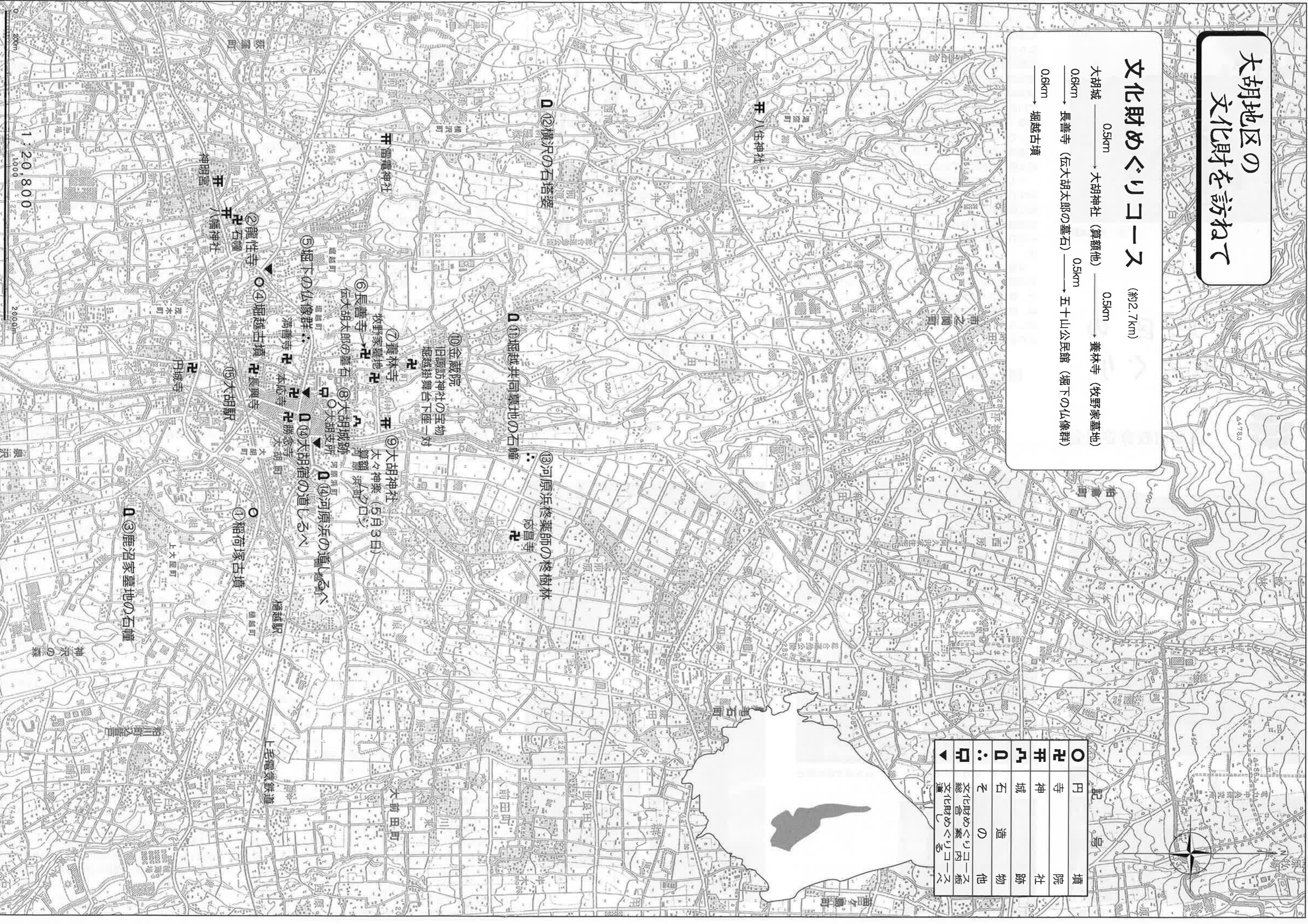
(重文…重要文化財 無文…重要無形文化財 有民文…重要有形民俗文化財 無民文…重要無形民俗文化財 天記…天然記念物)
*については、ふだん公開されていません。

大胡地区の文化財を訪ねて

文化財めぐりコース (約2.7km)

- 大胡城 — 0.5km —> 大胡神社 (算額他) — 0.5km —> 養林寺 (牧野家墓地)
- 0.6km —> 長善寺 (伝大胡太郎の墓石) — 0.5km —> 五十山公民館 (堀下の仏像群)
- 0.6km —> 堀越古墳

○	円	墳
□	寺	院
卍	神	社
■	城	跡
△	石	造
▽	の	物
◇	造	他
●	文化財めぐり円一極	
▲	総合めぐりコース	
▶	文化財めぐりコース	



この地図は、前橋市長の承認を得て、同市作成の前橋市地形図1/25,000を使用し、複製したものである。